

## ハロウィン カボチャおばけ

～水がいらないドライになる商材を使って、ハロウィンに飾るカボチャおばけを作る～

作成者：株式会社フローレ21 高杉揚子

- 対象者・人数：幼児、年長～小学生15～20名  
(参加人数によって所要時間とスタッフの人数が変わってきます)
- 所要時間：1時間～1時間30分(年齢によって異なります)
- 指導者・アシスタント人数：指導者1名、スタッフ1～2名
- 実施場所：児童センター、小学校、イベント



- 資材：・紙コップ
  - ・ハサミ(工作用)
  - ・毛糸
  - ・工作用ハサミ
  - ・ホッチキス
  - ・セロテープ
  - ・キリ(穴を開ける時に使用)



紙コップ



工作用ハサミ・ホッチキス

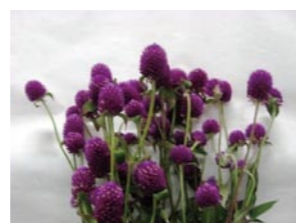
- 花材：・カボチャ
  - ・一人、5～6本ぐらい選べる本数・種類を用意する
  - ・ドライ用花材 タカノツメ・ヒエ・スターチス・お米・センニチコウ・葉物 等



カボチャ



タカノツメ



センニチコウ



パニカム

### 【指導内容と目的】

- ・自由な発想でハロウィンに飾るカボチャおばけを作り楽しむ!
- ・フラワーアレンジを教えるのではなく、子どもたちに花を通して、植物との関わり、季節の花、命の大切さ等を伝える。
- ・水に入れなくても、飾れる花を紹介(ドライになる花材)
- ・サンプルを用意せず、花を自由に選び、自由にアレンジを行う。この事で、個性豊かな作品に仕上がリ、達成感が育まれる。
- ・花に触れる楽しさ・喜び・本物の感動を伝え、花好きの子どもを増やす。

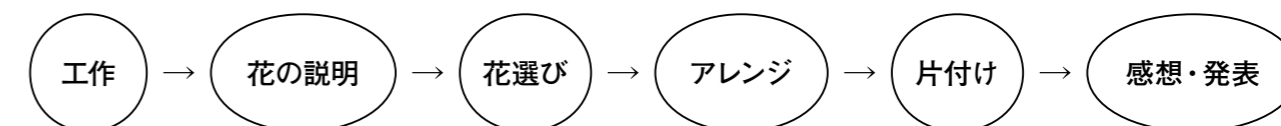
### 【対象者への配慮】

- ・アレンジというより、工作を主に行うので、けが等に注意する。
- ・基本、花を切る時はなるべく切花用のハサミを使用するが、今回はドライになる商材を使用するため、工作用のハサミで行うと良い。
- ・花の紹介・説明をする際、子ども達が分かりやすい言葉を選び、興味を持ってくれるような話し方・説明(特徴・名前の由来・産地・花びらの形等)が良い。また、花の特徴を知ってもらうため、必ず紹介した花を全員に渡して、花の香り・感触を確かめてもらう。
- ・タカノツメを触ったら、目等を触らないよう気をつける。

### 1. 当日の流れ

時間(所要時間) 1時間～1時間30分(年齢によって異なります)

手順



指導ポイント

自由な発想でハロウィンアートを楽しむ!紙コップの口を逆さにして使うと、カボチャを載せても安定する。ハロウィンは収穫感謝祭でもあるので、学校花壇や校庭等で収穫できる木の実やマツボックリ等のドライ商材、お米等を使用する。

## 2. 時間配分

- ① ハロウィンについての説明 5分
- ② 花の種類についての説明 10分 子供たちに香り・感触を楽しんでもうら為、全員に回す
- ③ 花選び 10分
- ④ アート工作 25分
- ⑤ 片付け 5分
- ⑥ 「花レシピ」に選んだ花の名前を記入 5分
- ⑦ アレンジ発表・感想 5分

## 3. フレームワーク

## ① 準備

- ・人数分のかぼちゃを用意かぼちゃに貼る顔シールはカボチャ1個に一枚付いているので、準備(買う)する時に気をつける。
- ・花材を並べる。
- ・当日使用する花の名前カードを用意(産地名を記入するのも良い) 幼児・小学生低学年の場合、バケツに貼り付ける花の名前はひらがなで書く。
- ・資材を用意(グループを作り、各グループに下記資材を配る)人数分の紙コップ、ハサミ(工作用)、工作用ハサミ、ホッチキス、セロテープ、キリ(穴を開ける時に使用)



## ② 挨拶 今日のテーマの説明。

## ③ ハロウィンの内容について説明 幼児・小学生の低学年には絵本を読むと良い。

## ④ 花の名前・特徴を紹介(産地・名前の由来・花びらの形等)

花の名前は事前にバケツに貼り付けるのではなく、「この花の名前を知っている人!」等と、子ども達に質問して答えてもらう。その後、花の名前・特徴について話しながら、バケツに名前を貼り付ける。必ず、紹介した花を全員に渡して、花の香り・感触を必ず確かめてもらう。

## ⑤ 花を選ぶ

選ぶ本数を決めて、子ども達に好きな花を選んでもらう。その際、花の取扱について説明する(どんな事をしたら花は折れてしまうか。花の気持ちを考えてもらう)。



## ⑥ かぼちゃに顔のシールを貼る。



## ⑦ 工作開始(キリを使う時は注意!)

紙コップに絵を書いたり、色を塗ったりして、胴体を作る(紙コップの口を逆さにして使うと、カボチャを載せても安定する)。選んだ花材や資材を使ってカボチャオバケを作る。  
※きりの使い方に気をつけて、自由に工作を楽しんでもらう。  
なるべく、工作に対して、注意や意見をすることはやめましょう。子ども達のやる気をなくしてしまいます。温かく見守りましょう。



## ⑧ 片付け

アレンジが終わった子ども達から、机の上、床のゴミを片付ける。ゴミ箱に捨てる時は、茎をなるべく短くして捨てることを教える。(ゴミ袋から茎が飛び出て、ケガをしたりすることがある)茎を短くする際、ハサミで切る場合は注意が必要。ハサミを持って、ゴミ箱まで来る子がいるので、ハサミを持ち歩かないよう注意をすること。

## ⑨ 「花レシピ」を記入

自分で選んだ花の名前を記入してもらう。花の名前を覚えてもらう為、また、お家に帰って家族と花の名前等について話せるように。



⑩ 発表・感想

アレンジの発表、感想を聞いてみる。

「今日、好きになった花は?」「どんなイメージで作ったの」「どこに飾る?」等、感想も聞いてみる。

⑪ 終わり

・終わりの挨拶

・皆で拍手をして終了

参考：花レシピカード (A6サイズ)

